

<学校名> 羽生市立村君小学校
 <所在地> 羽生市堤107
 <電話> 048-565-0223
 <本事例の特徴>

本校は、全校生徒58名の小規模校である。児童数減少が問題となっているが、英語のコミュニケーションで地域を活性化しようと、市より「英語村事業」の指定を受けている。常駐のALTを活用し、外国語活動の時間以外でもたくさんの機会に英語に触れられるよう言語環境の工夫と言語活動の充実に取り組んでいる。

<具体的な取組や成果>

○English Day の設定

毎週木曜日を English Day とし、全校を挙げて言語活動の実践に取り組む日としている。



(1) 「Hello English」・・・週替わりで英会話ダイアログを設定し積極的に使う。教師が英語で話しかけるきっかけを作ること、児童の発話を何回でも促すことができる。

(3) 昼休みを使った英語の読み聞かせやゲーム・・・子供たちの大好きな読み聞かせで英語に慣れ親しませる。また、英語圏の遊びで文化を伝える。



(2) ALTによる朝・昼のアナウンス・・・朝の行事連絡や給食のメニュー、歯磨きタイム等を英語でアナウンスし、自然な英語に親しませる。



○JICAとの国際交流

JICA研修生11名が来校。一緒に日本の伝統の遊びを楽しんだり、給食を食べたりして、交流を深めた。



・児童の感想より

英語はよくわからなかったけれど、ジェスチャーだけでも気持ちは伝わるのだなということがわかった。

JICAの人が日本語であいさつしてくれてうれしかった。ほくも相手の国の言葉を話して喜んで欲しいと思った。